

白板家製品取扱説明書

文書管理番号	UI 3 -XS-016	バージョン番号	V2.5.1	改訂日	2017-09-06
備考	本文中【】の中の内容は製品の画面にてクリック/タッチ可能であることを指します。				

白板家製品の構成

ハードウェア	インテリジェントタッチフレーム (リアルタイムに描画筆跡を記録するには POT とセットで使う必要があります、機能がそれぞれ異なるアイコンを使うことによって POT のホワイトボード画面と PPT の操作が可能です。	矩形アイコンタイプ	アイコンの位置はタッチフレームのサイズによりアイコンに対応したテンプレート(標準サイズなら自動的に検出される)を取り込んでおく必要があります。アイコンの位置に変化が生じた場合は新たにアイコン位置を計算し、設定しなおす必要があります。	
		扇形アイコンタイプ	アイコンの位置はタッチフレームのサイズと向きに関係なく、タッチフレームの右下に貼り付ければ OK です。	
	同梱品	マーカー	赤・青・黒 各 1	
		イレーザ	1 個	
	オプション	マーカーホルダー	1 個	
		扇形アイコンボード	特殊タイプの製品に含まれています。	
		ホワイトボード(矩形アイコンが含まれる)	特殊タイプの製品に含まれています。	
		ブルートゥースアダプター	ブルートゥースタイプシリーズの製品に含まれています	
	ソフトウェア	インテリジェントインタラクティブシェアシステム POT	Windows、Mac OS に適応する	POT を使って会議番号と QR コードを生成し、会議を開催します; 白板家 App、WeChat パブリックナンバーまたは WebApp を使って会議に参加し、@ボタンをクリックしてシェア内容が得られます。
		白板家 App	iOS、	App を使って会議に参加後、PTT とホワイトボード板面

		Android に適 応する	の描画内容のライブ画面を見ることができます。App は 最も完全な機能とサービスを持っています。
	WeChat パブリック ナンバー	WECHAT の インストール 及び白板家ブ リックナンバ ーへフローす る必要があり ます。 パ	WeChat パブリックナンバーを使って会議に参加して から、@にて画面をキャプチャーしたり、メモを送信し たりすることができて、ハイライトレコードが自動生成 でき、また POT 画像フォルダーへ画像を転送すること もできます。
	白板家 WebApp	ブラウザさ えあれば使え ます	WebApp を使って会議に参加してから、@にて画面を キャプチャーできますが、メモの送信やハイライトレコ ード生成などの基礎機能しかありません。

インテリジェントタッチフレームの取扱い説明

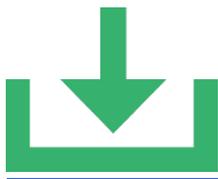
インストー ルステップ	Step1	開梱し、 部品が揃っているかをチェックしてください ；
	Step2	タッチフレーム裏面のマグネットシールの台紙を逐次にを剥がしてください；
	Step3	タッチフレームをなめらかで文字が書けるような平らな面、例えばガラス窓や壁な どにくっつけてください；
	Step4	しっかりとくっついて落ちないようにまでタッチフレームの四辺を押し付け てください ；
	Step5	扇形アイコンタイプのボードがある 場合はボードをタッチフレーム右下へボ ードの点線部と合わさるまで挿入してください ；
インテリジ ェントアイ コン	画面ク リア	POT のホワイトボード画面に現在表示されているページの筆跡を全部消去するの に用いられますが、実物のホワイトボード上の筆跡はイレーザーにて消すことにな ります。
	保存	POT のホワイトボード画面に現在記載されている内容を指定フォルダーに保存し ます。
	切換	POT のホワイトボード画面の表示・非表示
	前ページ	PPT を展示 している時に前ページへのページめくりができます； ホワイトボード モード画面時にホワイトボード前ページの内容を閲覧することができます。
	下一頁	PPT を展示 している時に次ページへのページめくりができます； ホワイトボード

次ページ	モード画面時にホワイトボード画面の次ページへ切り替えることができますし、次ページがない場合は新しいページが増設されます。
黒マーカー	クリックして、実際にどんな色で書いても POT のホワイトボード画面の筆跡表示色は黒となります。
赤マーカー	クリックして、実際にどんな色で書いても POT のホワイトボード画面の筆跡色は赤を表します。
青マーカー	クリックして、実際にどんな色で書いても POT のホワイトボード画面の筆跡色は青を表します。
シェア シェア	シェアモードの開始と終了

ソフトウェアのダウンロードとインストール

白板家のダウンロードセンターへアクセスをお願いします

<http://download.boardat.com>

POT	App	WECHAT パブリックナンバー	WebApp
			
クリックしてダウンロードしてください	QRコードをスキャンしてダウンロードしてください	WECHATQRコードをスキャンして、白板家パブリックナンバーへフォローをしてください	QRコードをスキャンしてアクセスしてください

POT 基本機能使用説明



(図1)POT ログイン画面



(図2)POT ログイン画面(会議パスワードにチェックを入れた時)

【パスワードを保存】	【パスワードを忘れた方】	【アカウント登録】	【会議パスワード設定】	【無料体験】	【ローカルモード】
チェックを入れたら、次回からPOT 起動時にアカウントとパスワードの入力は不要となります。	ログインのパスワードをお忘れになった場合はクリックすれば、取り戻すことが可能です(パスワード取戻し画面の図16をご覧ください)	指示に従って、登録の必要事項を入力し、白板家の会員になってくだされば、もっと多くの特典をご享受できます(登録画面の図12をご覧ください)	チェックを入れれば、今回の会議のパスワードを設定することができます(Appを使って始めてパスワードが掛けられている会議に参加できます)	このボタンをクリックすれば、アカウント・パスワード無しでもビジターの身分で白板家を速く体験することができます。	ログイン及びネットワークに接続せず、会議コードがなく、共有出来ず、ホワイトボード画面の内容をローカルで保存することしかできません。

Step1: アカウントとパスワードを入力し、【ログイン】をクリックすれば、会議準備画面になり、会議参加者がQRコードを読み込んで会議の番号を使って会議に出るのを待ちます。



(図3)【会議開始】準備画面

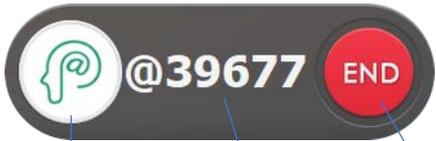
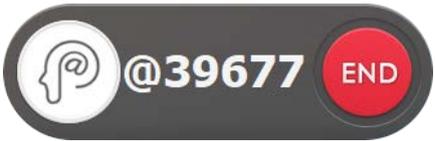
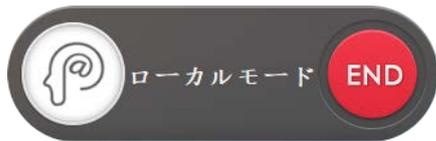


(図4)【会議開始】準備画面(会議パスワード設定時)

QRコード	会議コード	パスワード	【会議を開始する】
WECHAT または 白板家	WECHAT、白板家 App	会議パスワードが設定してある	会議の参加者が会

App を使って QS コードをスキャンすれば、直接会議に参加できます。	またはWebAppを使って会議コードを入力することにより会議に参加できます。	場合はここに表示されますので、App を使ってこのパスワードを入力して初めて会議に参加できます。	議に出たら、このボタンをクリックすれば、正式に会議モードになります。
--------------------------------------	--	--	------------------------------------

Step2: 【会議開始】をタッチすれば、正式に会議モード（シェアモードがデフォルト）に入り、次のアイコンが表示されれば、即ち会議の開催を開始できたこととなります。

 <p>(図5) 会議コードアイコン: シェアモード開始</p>	 <p>(図6) 会議コードアイコン: シェアモード終了</p>	 <p>(図7) 会議コードアイコン: ローカルモード</p>
---	--	--

【シェア】ボタン	会議コード	【END】ボタン	会議コードアイコン右クリックメニュー	
クリックしたら、シェアが終了となりますので、この時は@を通じても得られないが、再度クリックすれば、シェアは可能になります。	今回の会議コードを指しますが、会議が終わらないうちに参加者は誰でもこのコードを使って会議に参加することができます。	クリックすれば、会議を終え、POT を終了します。	【表示/非表示】	アイコンを表示または非表示にします
			【会議 QS コードを表示】	後から来た者がコードをスキャンして会議に参加できるように会議開始準備画面を呼び出しておきます(図3をご覧ください)。
			【PPT を開く】	クリックして開きたい PPT を選んでください。この時、POT は PPT ライブモードに入ります。
			【設定】	POT 機能設定画面に入ります
			【ヘルプ】	製品のヘルプファイルを開きます
			【About】	クリックすれば、更新

				チェック及び登録情報の修正ができます (図 14 をご覧ください)
			【EXIT】	会議を終えて POT を終了します

Step3: タッチフレームの USB ケーブルをパソコンの USB ポートに挿入し、会議コードアイコンを右クリック--【設定】、【基本設定】に入ります

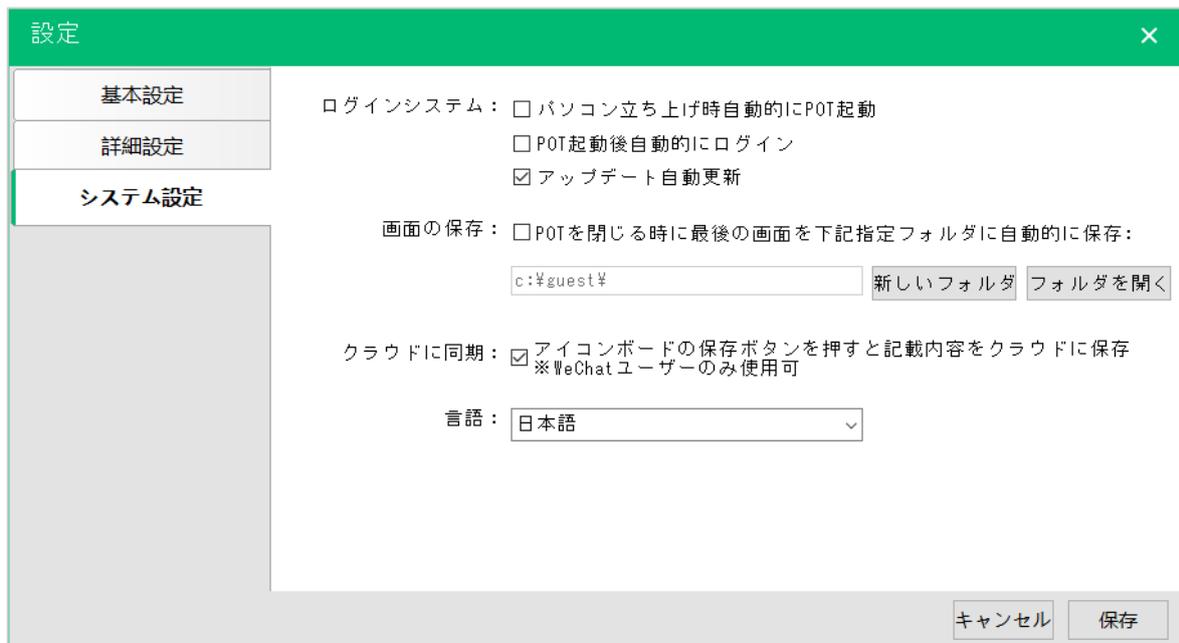


(図 8) 【基本設定】画面: タッチフレーム初回使用時にはアイコンタイプとフレームの向きを正しく設定しておく必要があります

アイコンタイプ	お買い上げ頂いたタッチフレームアイコンポートセットにより矩形または扇形を選択してください。
タッチフレームの方向	タッチフレームを置く向きに合わせて対応の図を選択してください。設定を間違えたら、タッチフレームアイコンが正しく認識されません。
サイズ選択	矩形アイコンを選択した場合にのみ設定が必要で、標準サイズなら、自動的に認識されます。
マーカーサイズの設定	即ちマーカーの認識可能な最大サイズを設定することですが、設定値を超えた筆跡はイレーザーと認識します。
図形画質の調整	@にて取り込む画像の画質設定を行います。数値が高いほど画像の画質が高まりますとともに、保存容量も多く食ってしまいます。
会議アイコンの透明度	アイコンの透明度を調整します。0 は完全に透明で、255 は不透明となります。

(図9) 【詳細設定】画面

<p>会議連動</p>	<p>チェックを入れれば、任意に会議コードを自らで設定できます。システムからその都度発行された会議コードがそれと自動的に連動するようになっており、その都度、自らで設定した任意会議コードを入力するだけでも会議に参加できます; 「アイコンに表示」にチェックを入れれば、設定した任意会議コードは会議コードアイコンに表示されます。</p>
<p>ダウンロード画面の選択</p>	<p>表示装置が2つある場合はメインキャプチャー画面または拡張表示装置の画面 が選択できます。</p>
<p>マーカー、チョークの選択</p>	<p>【マーカーモード】はオフィスシーンに向きますが、筆跡は比較的粗くなります; 【チョークモード】は授業環境に向き、筆跡は比較的細いです。</p>
<p>画像データの選択</p>	<p>チェックを入れると、会議参加者全員とも App または WECHAT パブリックナンバー を通じて画像を POT に転送することができます。</p>



(図 10) 【システム設定】画面 ご自分の必要に応じて設定

ログインシステム	ご自分の必要に応じてチェックを入れて選択します。
ローカル保存	ホワイトボード上の保存アイコンを通して保存したホワイトボード板面の描画内容は指定フォルダーに保存されます。
クラウドに同期	チェックを入れて選択すれば、ホワイトボード板面の描画内容画像キャプチャーは自動的にクラウドサーバーにバックアップされ、ハイライトレコードから検索も可能です。
言語	POT 画面の言語は現在では、簡体中国語、繁体中国語、英語及び日本語に対応しています。

Step4: 設定が終わったら、クリックして保存すれば OK (POT 初回利用時はタッチフレームを接続するならアイコンタイプとタッチフレームの向きだけ設定すれば OK、その他は必要に応じて設定すれば良いです)

Step5: 会議コードアイコンをダブルクリックするか、タッチフレーム上の【切換】ボタンをクリックし、POT のホワイトボード画面モードに切り替えます。



(図 11)POT のホワイトボード画面モード

右クリックメニュー	説明
画面クリア(F1)	機能はタッチフレームのインテリジェントアイコンと同様で、ショートカットキーは F1。
保存(F2)	機能はタッチフレームのインテリジェントアイコンと同様で、ショートカットキーは F2。
切換(F3)	機能はタッチフレームのインテリジェントアイコンと同様で、ショートカットキーは F3。
前ページ(F4)	機能はタッチフレームのインテリジェントアイコンと同様で、ショートカットキーは F4。
次ページ(F5)	機能はタッチフレームのインテリジェントアイコンと同様で、ショートカットキーは F5。
赤マーカー(F6)	機能はタッチフレームのインテリジェントアイコンと同様で、ショートカットキーは F6。
青マーカー(F7)	機能はタッチフレームのインテリジェントアイコンと同様で、ショートカットキーは F7。
黒マーカー(F8)	機能はタッチフレームのインテリジェントアイコンと同様で、ショートカットキーは F8。
开始/停止分享(F9)	機能はタッチフレームのインテリジェントアイコンと同様で、ショートカットキーは F9。
元に戻す(F10)	ホワイトボード【画面クリア】前の内容に戻すことはできますが、イレーザーにて消された内容(画面クリア後に物理的な消去ではない内容 が行われて) を元に戻すことは不可能です。
ローカル写真取り込み(F11)	現在使っているパソコンから 1 枚の写真 を選んで POT のホワイトボード画面に展示させます。

Step6: タッチフレームに描画をし、その筆跡はリアルタイムに POT のホワイトボード画面に反映されます。

白板家アカウント登録と管理

白板家アカウントをご登録の際は本当のメールアドレス(認証のためのメール受信に必要)、会社名及び電話番号、携帯電話番号などの連絡方法をご提出頂く必要があります。登録情報をご提出頂いたら、システムからご登録頂いたメールアドレスに認証用メールが届きます。そのメールの指示に従って認証手続きを終えれば、登録完了となります。

1, POT を使った白板家アカウント登録



(図 12)POT アカウント登録画面 登録情報を入力したら、【アカウント登録】をタッチすればご登録頂いたメールアドレスに認証用のメールが届きます。



(図 13)POT から認証用メールを送信



(図 14)白板家認証用メール:【認証】リンクをクリックすれば、認証画面に入ります



(図 18)App でのアカウント登録画面

説明: 登録の手順は「POT を使ったの白板家アカウント登録」をご参考ください。App と POT でご登録頂いたアカウントは共通で御使用頂けます。



(図 19)登録情報修正画面

説明: App を起動し、ナビゲーション・メニューの【わたし】をタッチしてからアカウントをタッチすれば、即、登録情報を修正することができます。



(図 20)パスワードを忘れた場合の画面

説明: 【ログイン】画面で【パスワードを忘れた方】をタッチすれば、ここにパスワードを取り戻すことができます。

POT の他の機能の使用に関する説明

1, プロキシサーバーを使用する



((図 21)ログイン画面で右上赤枠部の 🌐 ボタンをタッチすれば、ネットワーク設定画面になります。



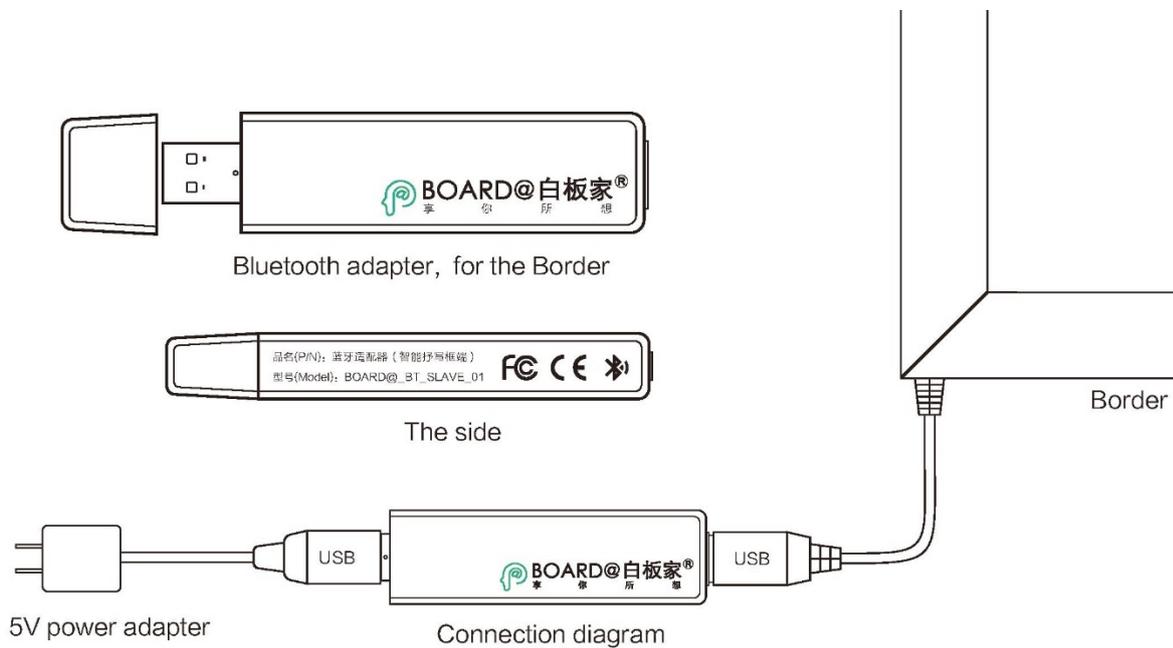
(図 22) ネットワーク設定画面



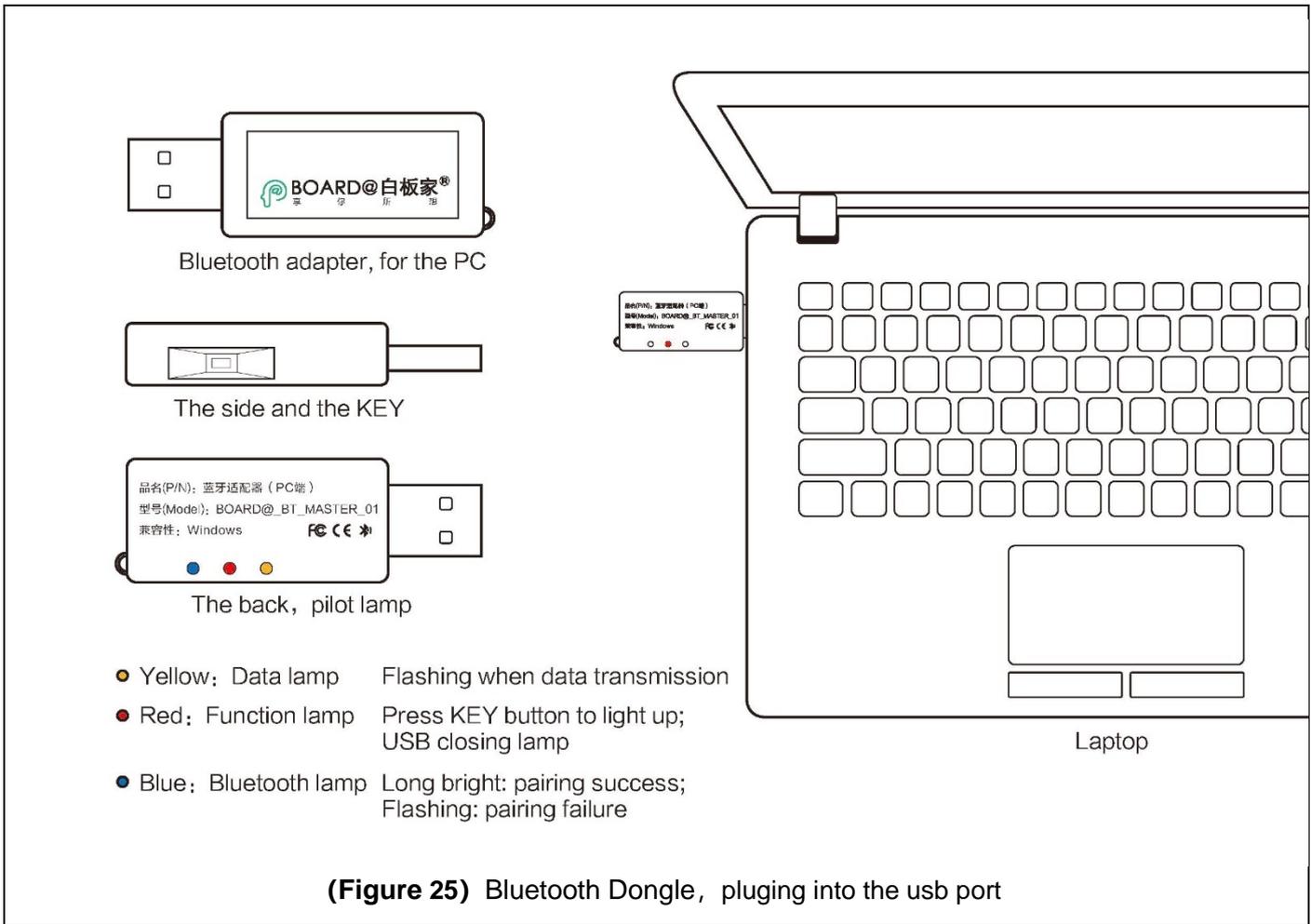
(図 23) プロキシサーバー設定

お使いのプロキシサーバーの種類により HTTP または SOCKS を選択し、プロキシアドレス、アカウントとパスワード(必要なら)を入力してください。

2, ブルートゥースアダプター (ブルートゥースタイプタッチフレームとセットで使う必要がある) を使用



(Figure 24) Bluetooth Dongle, plugging into the Border port



白板家 App を使って会議に参加		
	POT を使う場合の手順(会議開催者)	App を使う場合の手順(会議参加者)
	パソコン画面の内容を共有	
Step01	POT を起動し、アカウント・パスワードを入力し、【ログイン】をクリックして【会議を開始する】画面に入って、会議参加者が QR コードまたは会議コードを入力するのを待ちます。	<p>会議コードを使って会議に参加: App を起動し、@ボタンをタッチし、【会議を開始する】画面で会議コードを入力します。</p> <p>QR コードを使って会議に参加: @ボタンをタッチしてから右上のスキャンボタンをタッチし【会議を開始する】画面上の QR コードをスキャンすると、会議への参加は成功となります。</p>
Step02	【会議を開始する】をクリックすると、会議は正式に開始します。	@ボタンをタッチすると、「会議開催者」のパソコン画面の内容を取り込むことができます。
Step03	任意のソフトウェアまたはファイル、例えば	@をタッチすると、PPT 画面をキャプチャーでき

	PPT を開きます。	ます
	ホワイトボード板面の描画内容を共有	
Step04	インテリジェントタッチフレームをパソコンの USB ポートに接続します	
Step05	【会議コードアイコン】を右クリックして【設定】を選択し、【基本設定】に入ったら、まずアイコンタイプ (矩形または扇形) を設定後、タッチフレームの向きを設定します。設定が完了したら、【保存】をクリックすれば OK。	
Step06	会議コードアイコンをダブルクリックするか、またはタッチフレーム上の切換ボタンをクリックすると、ホワイトボードモードに入ります。	
Step07	タッチフレームに描画をすると、その筆跡はリアルタイムに POT のホワイトボード画面に表示されます。	この時に@ボタンをタッチすると、ホワイトボード板面の描画内容画像をキャプチャーできます。
	ホワイトボード板面の描画内容と PTT ライブ画面を見る	
Step08	(ホワイトボード画面モードになっている場合、タッチフレームの【切換】ボタンをクリックしてホワイトボード画面モードを終了) PPT ファイルをドラッグして会議コードアイコンにドロップするか、【会議コードアイコン】を右クリックして【PPT を開く】を選択します (PPT 左上に赤い点が点滅し、ライブ中の状況を示す)	App メイン画面のライブボタンをタッチすると、ライブモードに入ります。
Step09	PPT 放映開始。	PPT タグをタッチして PPT ライブ状態に切り換えると、PPT によるプレゼンテーションをリアルタイムに見ることができます。
Step10	ホワイトボード板面の描画内容をライブしたいなら、【切換】ボタンをクリックしてライブモードにし、タッチフレームに描画を開始します。	ホワイトボードタグをタッチしてホワイトボードライブ状態に切り換えると、描画内容をリアルタイムに見ることができます。
テクニックのヒント		
1	ホワイトボードまたは PTT を操作するのにタッチフレーム上のアイコンを用いるほかにショットカットキーを通して操作は可能です。	取り込んだ画像キャプチャーをタッチすると、画像へタグとメモを付けることができます。また、画像への簡単な編集も可能です。

2	POT と APP でご登録頂いたアカウントが同じであれば、スマートフォンから写真を POT のホワイトボード画面に転送できます。【詳細設定】の【白板家 App から POT に画像データを転送】にチェックを入れれば、会議の参加者は誰でも画像を転送できます。	ライブ中でも@をタッチすることにより画像キャプチャーが取り込めます。この時は PPT ファイルのテキスト内容が認識され、自動的にメモが生成されます。
3	シェアを終了したいなら、会議コードアイコン上の白板家 Logo ボタンをクリックして Logo が灰色になったら、シェア終了、再度クリックして Logo が点灯したら、シェア開始となります。	会議の開催者がシェアを終了させた場合、@を通して何の内容も取り込めません。
4	ホワイトボード板面の描画内容 POT を通して PPT を開かないと、会議の参加者は PPT ライブ画面を見ることはできませんが、ホワイトボード板面の描画内容のライブ画面を見ることはできます。	

白板家微信 WECHAT 公式アカウントを使って会議に参加

	POT を使う場合の手順 (会議開催者)	WECHAT パブリックナンバー 使う場合の手順 (会議参加者)
Step01	POT を起動してログインし、【会議を開始する】画面に入って、会議参加者が QR コードをスキャンまたは会議コードを入力するのを待ちます。	QR コードを使って会議に参加: WECHAT のスキャン画面を呼び出して、【会議を開始する】画面上の QR コードをスキャンします。この時にもパブリックナンバーに対してフォローされていなければ、提示メッセージに従ってフォローしておけば、会議に参加できるようになります (若しくは先にパブリックナンバーにフォローを入れてから パブリックナンバーメニューの【スキャン】をタッチして QR コードをスキャンしても会議に参加できます)
		会議コードを使って会議に参加: まず白板家パブリックナンバー をフォローし、パブリックナンバーにアクセスして パブリックナンバーへ @+会議コードを送れば、会議に参加できます。
Step02	【会議を開始する】をクリックすれば、会議は正式に開始します。	パブリックナンバーのメニューに切り換えて、【@】ボタンをタッチすればパソコン画面をキャプチャーできます。

Step03	インテリジェントタッチフレームをパソコンのUSBポートに接続します。	
Step04	アイコンタイプとタッチフレームの向きを設定します。	
Step05	【会議コードアイコン】をダブルクリックするか、またはタッチフレーム上の【切換】ボタンをクリックすれば、ホワイトボード画面モードに入ります	
Step06	タッチフレームに描画をすると、その筆跡はリアルタイムにPOTのホワイトボード画面に表示されます	【@】ボタンをタッチすれば、ホワイトボード板面の描画内容をキャプチャーできます。
Step07	タッチフレームの【切換】ボタンをクリックしてホワイトボード画面モードを終了させ、PPTファイルを開きます。。	【@】ボタンをタッチすれば、PTT画面をキャプチャーできます。

テクニックのヒント

1	POT【詳細設定】の【白板家 App から POT に画像データを転送】にチェックを入れれば、会議の参加者は誰でもパブリックナンバーへ画像データを転送できます。その画像はPOTのホワイトボード画面に転送されます。チェックを入れなければ、現在POTに登録してあるアカウントのみから画像の転送ができます（このPOT登録済みアカウントは現在のWECHATアカウントに連携させなければならない）
2	WECHATパブリックナンバーを使って会議に参加した場合、ホワイトボード板面の描画内容とPTTのライブ画面を見ることはできません。
3	【@】をタッチして画面をキャプチャーしたら、パブリックナンバーにメモを送信でき、自動的にハイライトレコードが生成されます。
4	パブリックナンバーメニューの【会員サービス】をタッチすれば、ハイライトレコードの閲覧・検索及びアカウントの連携/管理などができます。

WebApp を使って会議に参加

	POT を使っての手順（会議開催者）	WebApp 使った手順（会議参加者）
Step01	POTを起動してログインし、【会議開始】画面に入って、会議参加者の参加を待ちます。	パソコンまたはスマートフォンのブラウザーにて http://web.boardat.com へアクセスし、WebAPPに入ります。

		【Email Login】をタッチし、アカウントとパスワードを入力してログインし、【Quickstart—bind meeting】または【input】をタッチして、@+会議コードを入力します。
Step02	【会議を開始する】をクリックすれば、会議は正式に開始します。	この時にメニューの【@】ボタンをタッチすれば、パソコン画面をキャプチャーすることができます。
Step03	インテリジェントタッチフレームをパソコンのUSBポートに接続します。	
Step04	アイコンタイプとタッチフレームの向きを設定します。	
Step05	【会議コードアイコン】をダブルクリックするか、またはタッチフレーム上の【切換】ボタンをクリックしてホワイトボード画面に入ります。	【@】ボタンをタッチすれば、ホワイトボード画面をキャプチャーできます。
Step06	タッチフレームの【切換】ボタンをクリックして、ホワイトボード画面モードを終了させ、PPTファイルを開きます。	【@】ボタンをタッチすれば、PPT画面をキャプチャーできます。

テクニックのヒント

1	【Quickstart—add note】または【input】をクリックして、メモ内容を転送したら、自動的にハイライトレコードが生成されます。
2	【Quickstart—highlight record】をクリックすれば、ハイライトレコードの閲覧・検索が可能です。
3	WebAppは現在のところ、ホワイトボード板面の描画内容とPPTのライブの観覧及びPOTのホワイトボード画面への画像転送にはまだ対応できません。